

海外派遣留学プログラム 帰国報告書

* 帰国後の情報を入力してください

記入日	2023/7/27		
所属学部・ 研究科・学府	文学部		
所属学科・専攻	国際言語文化学コース		

1. 留学先について

留学先大学名	サラマンカ大学							
留学先所属学部等	文献学部							
留学期間	出発日	2022/8/31	入学日	2022/9/19	修了日	2023/5/28	帰国日	2023/6/28
住居	大学(紹介)の寮・アパート	民間アパート		<input checked="" type="checkbox"/> その他(ピソ)		
	通学時間	8分					On campus	
	通学方法	徒歩						
	居室スペース	<input type="checkbox"/> 個室	(5) 人部屋		その他 ()			
	共有スペース	<input type="checkbox"/> 完全個室	<input type="checkbox"/> キッチン	<input type="checkbox"/> トイレ	<input type="checkbox"/> バス	<input type="checkbox"/> リビング	その他()	
食事	自炊	70 %	学食	%	外食	30 %	その他	() %
保険	海外旅行保険(名称)	JTBトータルサポートプログラム						
	留学先国・大学指定の保険(名称)	Axa					<input checked="" type="checkbox"/> 加入必須	
	その他							
渡航ルート	ex.) 成田⇄シカゴ(飛行機)⇄ウィスコンシン(電車)							
	成田(行き) ⇄ マドリード(飛行機) 羽田(帰り) ⇄ アブダビ(行き)・イスタンブール(帰り)経由 ⇄ サラマンカ(バス)							

2. 留学にかかった費用について

総費用	150万 円			
出どころ				
自費	貯金	30万 円	アルバイト 円	その他 円
援助	親	110万 円	家族・親戚 10万 円	その他 円
奨学金	JASSO	円	その他名称()	円
その他	その他()	円		

2-1. お金の管理方法

渡航時	<input type="checkbox"/> 現金	8万 円	その他()	円
留学中	<input type="checkbox"/> 海外送金	キャッシング	<input type="checkbox"/> その他()	クレジットカード

2-2. 各費用の支払い方法

大学に払った費用	語学コース授業料
住居にかかった費用	銀行振込
その他	

2-3. 内訳

費目	外貨金額		円貨金額	
	通貨単位			
渡航費(往復)	€		200,000	円
JTBトータルサポートプログラム (海外旅行保険・危機管理サービス)	€		134,830	円
その他の保険料	€		88,149	円
査証・在留許可証	€		0	円
住居	€	2,950	463,873	円
光熱費	€	(家賃に光熱費込み)	0	円
食費	€	1,500	235,868	円
通学に要する交通費	€	0	0	円
教科書, 教材費	€	0	0	円
その他大学に支払った経費	€	378(語学コース)	55,000	円
その他 (通信費)	€	100	15,724	円
その他 (その他生活費)	€	500	78,298	円
その他 (交際費)	€	500	78,299	円
その他 ()				円
その他 ()				円

3. 学業面

履修科目名	種類 ex. 正規, 聴講	単位数	単位互換認定 申請の有無		
			有	無	
1 Lengua Española	正規	6	○	有	無
2 Sociedades de Asia Oriental	正規	3	○	有	無
3 Escrituras de Asia Oriental: Caracteres	正規	6	○	有	無
4 Cultura de Masas de Asia Oriental	正規	3	○	有	無
5 Literatura Contemporánea Japonesa	正規	3	○	有	無
6 Seminario de Traducción Japonés- Español	正規	4.5	○	有	無
7 CURSO DE ACTUALIZACIÓN LINGÜÍSTICA PROGRAMA ERASMUS	正規	2	○	有	無
8 CURSO DE ACTUALIZACIÓN LINGÜÍSTICA PROGRAMA ERASMUS	正規	2	○	有	無
9				有	無
10				有	無

3-1. 授業科目の選択, 登録方法

現地の学生に評判を聞いて決めた。シラバスをよく読み、言語レベル、内容、評価方法など留学生向けかどうか、自分のレベルに見合っているかなどを検討し、授業が決まった後は、大学のコーディネーターの先生に許可をもらい、事務室に用紙を提出した。

3-2. 授業内容, 方法に関して

自分が興味あるものを選ぶことができたので、どの授業も履修することができてとても満足している。先生方は基本的に留学生への対応に慣れていて、質問にも丁寧に答えてくれる方が多い。試験方法に関しては、辞書が持ち込み可能かどうかを授業の初回やシラバスで確認することをおすすめする。

3-3. 語学力について

10か月滞在了したので、ある程度上達した。さまざまな国の人と交流する機会があり、スペイン語だけでなく、英語で会話する場面もかなり多いため、英語にも慣れることができた。困ったときや分からないことがあるときに、初対面の人にスペイン語または英語で話しかけたり、ちょっとした会話を楽しんだり、自分の語学力を気にせず、拙いながらも会話をする度胸がついた。スペイン人に限らず、私たちの話すスペイン語/英語を理解しようとしてくれる人が多かった。

3-4. 図書館など学内施設について

かなり大きな図書館があり、スペイン語の文献は充実していた。日西文化センターには日本語の図書館があり、文献を探すのに便利だった。

3-5. その他

4. 生活面

4-1. 住居について

大学から徒歩10分弱のビソに滞在した。5人部屋で、部屋の広さによって値段が変化した。初対面の人たちとの共同生活のため、人によって合う/合わないがあると思うが、一番出費を抑えることができる。共同スペースの利用方法や掃除分担などは最初に決めると良いが、神経質になりすぎない方が良い。同居人とのトラブルが発生した場合、自分だけで対処しようとするとなんだかトラブルの元になる可能性があるため、不動産や大家、その他の同居人など、第三者を仲介して解消することをおすすめする。

4-2. 食生活について

最初は知らない食べ物ばかりでとても楽しいが、次第に小麦粉を食べたくなくなった。米は売っているが、鍋で炊かなくてはならず少し面倒だった。特にパンは飽きるの、麺類、米を主に食べた。肉や加工肉は美味しいものばかりで困ることは無かった。レストランでの外食は値段が高いので、誘われたときや特別なとき以外は行かなかった。マクドナルドやケバブなど安い外食もあるので、そこを利用することも多かった。飲み物に関しては、美味しいお酒がたくさんあるので、さまざまなものを試すことができた。美味しいワインを見つけたり、好きなカクテルを探したりするのは楽しかった。

4-3. インターネット環境, 携帯電話について

Orangeという会社の月10€のSIMカードを購入し、毎月ネットから10€をチャージして使用した。友人の中にはOrangeの月20€のものを利用している人や、Vodafoneという会社のSIMカードを利用している人もいた。自宅、大学にはwifiがあるためスムーズに利用できたが、建物内や地下、中～長距離での電車移動中などはすぐ圏外になってしまうことが多かった。日本へ電話をかける際には、携帯電話番号から通話をするとう国際電話になり、かなり高額になってしまうので、LINEの無料電話を利用した方が良い。

4-4. 服装について

冬は雪が降るなど冷え込む日が多いので、厚手のコートやダウン、マフラー、手袋があると安心だと思う。夏はかなり気温が高く、日差しも大変強いのでサングラスは必須だった。服は現地で調達できるので、必要以上に持っていかなくても良いと思う。スペインの洗濯機の洗濯コースを間違えると、かなり縮んだり傷んだりする。硬水で洗濯するので、洗いあがりでごわつく場合が多いため、お気に入りの服は持っていかない方が良い。

4-5. 健康管理について

留学期間中、4~5回体調を崩した。乾燥で喉風邪をひいたり、移動疲れや気疲れで熱を出したりした。日本から自分に合った飲み慣れた薬を持っていくことをおすすめする。春になると花粉症もあった。

4-6. 保険、危機管理サービスの利用について

特に利用しなかった。

4-7. 課外活動について

10月、11月に大学が開校しているスペイン語語学コースに通った。週5日2時間3週間のコースで、ヨーロッパ出身の学生が大半を占めていた。事前にWebテストをしてクラスに振り分けられた。クラスには流暢なスペイン語を話す学生から全くスペイン語を学んだことが無い学生まで、さまざまなレベルの人がいた。いろいろな国の人と交流でき、通ってよかったと思う。また、週1日、大学の日本語の授業の手伝いでは、学生の授業内の活動や発表の手助けをした。

4-8. 学外のコミュニティとの交流について

サラマンカは大学生がほとんどなので学外のコミュニティが広がることはあまり無かったが、ルームメイトやバルで出会った人などから学部外のコミュニティを広げることはできた。食事などのさいに人を紹介されることが多かった。

4-9. 日本から持参してよかったもの

- ・日焼け止め・薬類→解熱剤、頭痛薬、生理痛薬、花粉症の薬、胃薬、虫刺され薬はあってよかったと思う。
- ・化粧水、化粧落とし、洗顔料→スペインで肌に合うものを探すのは難しい。
- ・小説→スペイン語か英語の文章しか読まないの、日本語の活字が恋しいときに役立った。
- ・サングラス ・防寒着 ・室内用サンダル ・コンセントの変換プラグ ・電子辞書 ・日焼け止め

4-10. 日本から持参したが不要だったもの

・ヘアアイロン

4-11. 現地での対人関係について気づいたこと(習慣の違い、マナーなど)

- ・食事時間→日本より遅い時間に食事する。
- ・連絡手段→WhatsAppというアプリを使って連絡をとる。友人だけでなく、ホテルや大家さんとの連絡もこのアプリを使う。ボイスメッセージを使う人も多い。

4-12. 余暇の過ごし方

旅行

--

その他 *気分転換やストレス発散法など。

散歩、映画鑑賞、読書、友人と喋る

--

5. その他

5-1. 留学先大学について

留学生が多く、日本人の先生もいるので、学習しやすく過ごしやすい環境だった。非スペイン語話者の学生が多いので、さまざまな言語に触れられる。図書館、wifi、学食などの設備も充実していた。

--

5-2. 留学希望者へのアドバイス

サラマンカ大学は留学生を多く受け入れている大学のため、支援は手厚いと思います。スペイン語もちろん上達しますが、海外で、一人で、日本人とは全く違う文化を持つ人たちと一緒に生活していくので、精神的に鍛えられます。楽しいことばかりでなく苦い経験もあるかと思いますが、今後生きていくものなのでぜひ挑戦してほしいです。

--

5-3. 留学を終えて

さまざまな国籍の人たちと関わって、自分の価値観や考え方が大きく広がったと感じています。それぞれが違った文化を持っていて、一つの物事に対しても異なる視点からの考えを聞くことができ、とても勉強になりました。海外の人と交流をしていくなかで、自分の中に、無意識的に固定観念や偏った考えがあると知ることができました。それらも、さまざまな人と関わるなかで解きほぐされ、渡航前よりも柔軟な考え方ができるようになったと感じています。

また、渡航前は海外の人と交流することに対して緊張したり身構えたりする面がありましたが、相手の文化を理解していくうちにそのような気負いはなくなり、日本人と交流するのと同じ感覚で違う国出身の人とも関われるようになった部分も大きく成長できた部分だと感じています。日本から地理的に離れたヨーロッパ、スペインという宗教も歴史も大きく異なる土地で生活し、座学だけでは学び取ることが難しい各国の国民性や文化を体感し、理解することができました。

--

お疲れさまでした。